

税務過疎地人員派遣結果報告

法対部 公益的業務委員会 大沼はるみ

以下の実施内容につき、ご報告申し上げます。

1、実施要領

全国三青会主催の過疎地人員派遣事業に参加することにより、災害被災地である三宅島の現状視察及び税務相談会開催を実施し、今後の全国青税における税務過疎地及び災害地対応についての検討資料とともに、租税教育に関する資料を収集する。

2、実施内容

(1) 実施日：平成18年11月4日（土）～11月6日（月）船1泊現地1泊

(2) スケジュール

| | |
|---------|---|
| 11月4日夜 | 竹芝栈橋出発 |
| 11月5日早朝 | 三宅島到着 |
| 午前 | 島内視察 |
| 午後 | 村役場にて法律税務相談会開催 |
| 夜 | 三宅島でボランティアに尽力されている飯倉氏との懇談会 |
| 11月6日午前 | 〔1班〕村役場にて法律税務相談会開催 〔2班〕三宅島高校において青法協及び青司協企画の法律教室参加 〔3班〕三宅村立小学校及び都立三宅島高校を訪問、租税教育についての資料収集 |
| | 〔1班〕徳田(東京)、池田(東京)、高垣(神奈川)、関(神奈川) |
| | 〔2班〕城田会長、榎崎(近畿)、坂本(近畿)、西川(名古屋)、山本(東京)、大沼(神奈川) |
| | 〔3班〕城田会長、大沼(神奈川) |
| 午後 | 三宅島出発 |

(3) 参加者（敬称略、順不同） 合計15名

- 全国青年税理士連盟
城田会長、榎崎(近畿)、坂本(近畿)、西川(名古屋)、徳田(東京)、池田(東京)、山本(東京)、高垣(神奈川)、関(神奈川)、大沼(神奈川)
- 青年法律家協会弁護士学者合同部会
小海、深水(法科大学院生)
- 全国青年司法書士協議会
伊見、乾(現地駐在者)
- その他（自費参加）
山本社会保険労務士

3、法律税務相談会について

- (1) 税務・税理士に関する案件 3件
 - ① 雑損控除に関するもの 1件
 - ② 相続時精算課税に関するもの 1件
 - ③ 固定資産税に関するもの 1件
- (2) 司法書士・弁護士案件 6件

4、租税教育資料収集について

(1) 訪問先及び面談者

三宅村立小学校 副校長 大塚昌志氏

東京都立三宅高等学校 副校長 堀切哲弥氏

※三宅村立中学校は、文化祭の代休のため面談できず、資料を中学校担当者へお渡しいただくよう大塚氏に託した。

(2) 租税教育の現状及び要望についての意見聴取

- ① 芝税務署による租税教育は実施済み。
- ② 芝税理士会による租税教育は実施されていない。
- ③ 租税教育だけではなく、消費者法についても絡めての教室開催については関心あり。

5、都立三宅高校における法律教室について

高校生及び教師も参加する劇形式の法律教室であるため、生徒の内容への傾注度も高く、好評であった。

6、飯倉氏との懇談会（別紙飯倉氏作成資料参照）

民生委員としても活躍されている飯倉明子氏より、三宅島住民の、噴火時、避難時、帰島時及び現在の状況を事細かにお話頂いた。

生命の危機と隣り合わせであった噴火時、着の身着のままの離島、困窮し生活するのに精一杯であった避難時、帰島してからは将来の生活に対する不安等から精神を病む住民が多いこと等、体験者ならではの詳細な内容を伺うことができた。

三宅島住民は、帰島してもなお問題を多く抱えている。

そのような中、弁護士・司法書士・税理士の無料相談会は、問題解決の大きな助けとなっている。

7、収支報告

《単位：円》

| | 予算(岐阜理事会承認) | 実 費 | 差 額 |
|----------|-------------|----------|----------|
| 船代(往復) | 13,360/人 | 11,736/人 | ▲1,624/人 |
| 宿泊代 | 8,000/人 | 10,413/人 | +2,413/人 |
| いかり代(二台) | 3,000/人 | 3,242/人 | +242/人 |
| 一人当たり経費 | 24,360/人 | 25,391/人 | +1,031/人 |
| 総額 | 243,600 | 253,910 | +10,310 |

以上。